

## 第2章 「避難所開設・運営訓練」の手順

本章では、下記の項目について説明します。

1. 訓練企画～実施・ふりかえりまでの手順について
2. 企画段階の取り組み
3. 準備段階の取り組み
4. 実施段階の取り組み
5. ふりかえり段階の取り組み

## 1. 訓練企画～実施・ふりかえりまでの手順について

## 訓練企画から実施・ふりかえりまでの基本的な流れ

訓練を企画し実施するための取り組みの基本的な流れは次のとおりです。

適切な訓練実施のためには、いつ、誰を対象にどんな訓練とするか「企画」し、訓練内容に即した「準備」をして、「実施」する必要があります。また、訓練は実施して終わりではなく、「ふりかえり」を通じて課題を明らかにし、改善につなげることも重要です。

1  
企画

**運営チームを立ち上げ、  
訓練の内容・方法や日時、  
参加対象者等を検討**

2  
準備

**訓練の進行役等や実施に  
必要な資料・物品等の確保、  
参加者へ参加依頼**

3  
実施

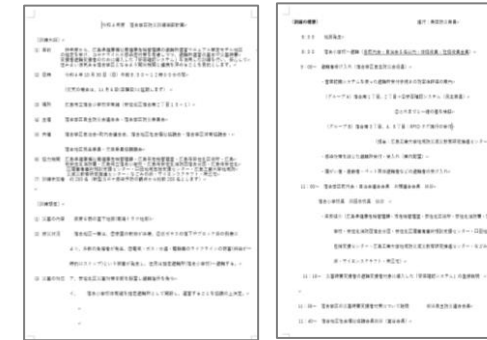
**会場設営や当日の準備を  
行い、予め定めた内容と  
方法に沿って訓練を実施**

4  
ふり  
かえり

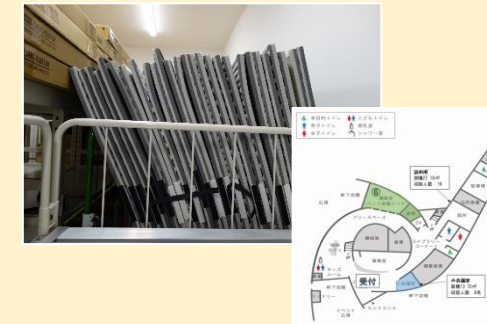
**参加者と運営チームとで  
訓練内容等をふりかえり**

訓練の企画・準備から実施・ふりかえりにいたる4つの取り組みには、それぞれにアウトプットや成果があります。企画の取り組みの結果として「訓練実施計画がまとまる」ことは、そのアウトプットのひとつといえます。

以下に、4つの取り組みに係る主なアウトプットと成果例を示します



企画を通じたアウトプット  
● 訓練実施計画がまとまる



準備を通じたアウトプット  
● 教材・資料ができる  
● 参加者名簿ができる



実施を通じた成果  
● 参加者が必要な知識や  
スキルを身につけること  
ができる  
● マニュアルの内容を検証  
できる



ふりかえりを通じた成果  
● 避難所の環境改善  
● マニュアルの改善

## 2. 企画段階の取り組み

## 企画

## 訓練企画の手順と取り組み

訓練企画は、次の手順を基本に実施します。



## 企画のポイント

訓練企画での各取り組みについてのポイントは、下記のとおりです。関係者で集まり「企画会議」をしながら進めます。

## 1 チームを立ち上げる

地域住民、市町職員、施設管理者で、訓練を企画・準備、実施する運営チームを決めましょう。

- 地域の自治会や自主防災組織をはじめ、避難所運営において活躍が期待される民生委員・児童委員に参加を呼びかけましょう。
- いろいろな視点から企画できるよう、様々な人、幅広い世代の方々に参加をよびかけましょう。



## 2 日時と場所を決める

訓練の実施日時と実施場所を決めましょう。

- 実施日は、多くの人に参加しやすい日時を選びましょう。
- 実施場所は、避難所を基本としつつ、訓練の内容や進め方を踏まえ、実施に適した場所を選定しましょう。
- 様々な状況に応じて対応できるよう、冬や夜間の訓練も検討しましょう。



## 3 参加対象者を決める

避難所の開設・運営に携わる地域の自治会や自主防災組織や地域住民等、参加を呼びかける対象範囲を決めましょう。

- 訓練内容に応じて、地域の住民をはじめ、婦人会、子ども会、まちづくり団体など災害時に当該施設を利用する人に、参加を呼び掛けましょう。
- 施設管理者や避難所運営担当となる市町職員など避難所開設・運営者は、できるだけ参加してもらえようようにしましょう。



## 4 訓練のテーマと内容を決める

理解度や習熟度を踏まえ、訓練メニューから、どのステップの訓練をするかを決め、訓練の内容を決めましょう。

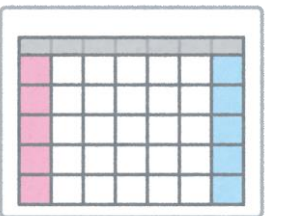
- 「訓練メニュー」と「訓練シート」を参考に、どんな訓練を実施するか、どんな内容にすればよいか、検討し、訓練テーマと内容を決めましょう。



## 5 当日のスケジュールを決める

日時と訓練メニューの所要時間を踏まえ、当日のスケジュールを組み立てましょう。

- 訓練メニューに記載の「所要」時間を参考に、訓練当日のスケジュールを作成しましょう。
- 実施にあたり「休憩」時間も考慮しましょう。



## 6 上記をとりまとめ実施計画をつくる

日時や場所、参加対象者、訓練目標と内容、当日のスケジュールをとりまとめ、訓練の実施計画書を作成しましょう。

- 参加者を呼びかけるチラシ等を作成する際に参考になるよう、計画はできるだけ具体的に、整理しましょう。





## 2. 企画段階の取り組み



## 実施事例：

## 訓練当日のスケジュールを作ろう！

- 次のスケジュール例は、避難所の開設と運営に係る訓練の実施に向け、作成した訓練当日のスケジュールの一例です。
- 長時間の訓練となるため「休憩時間」を設定するとともに、会場のセッティングや資料の配布など「会場準備」や、「あと片付け」の時間を加味して作成しています。



時間	所要（分）	訓練実施の流れ
12:00～13:00	60	会場準備
13:00～13:30	30	受付開始
13:30～13:45	15	開会のあいさつ 訓練説明
13:45～13:50	5	移動
13:50～14:35	45	避難所開設訓練 ・施設の安全確認訓練 ・避難所の開設準備訓練 ・避難者受入れ訓練 ・ペットの受入れ訓練
14:35～15:35	60	避難所運営訓練 ・避難所運営組織の立上げ訓練 ・避難者状況の管理訓練 ・情報収集・伝達訓練 ・ライフラインの点検訓練 ・備蓄物資の確認・受入れ訓練 ・災害用トイレの設置訓練 ・要配慮者の受付・対応訓練
15:35～15:45	10	休憩
15:45～16:25	40	ふりかえり
16:25～16:30	5	閉会のあいさつ
16:30～17:00	30	あと片付け
17:00～		解散

運営用の訓練スケジュール例



## 実施事例：

## 訓練企画会議を実施しよう！

- 熊野町の熊野東防災交流センターを避難所として活用する住民の団体、熊野町職員、施設管理者等、関係者が一堂に集まり、訓練の実施に向けて「企画会議」を実施しました。
- 会議では、誰を参加対象者にするか、どんなことを訓練すべきか、またどんな手順で訓練を行うかなどについて、意見交換をし、その結果、マニュアルの検証を兼ねて、避難所開設・運営の一連の流れを実施することになりました。

訓練企画会議の様子  
(熊野東防災交流センター)

## 3. 準備段階の取り組み

## 準備

## 訓練準備の手順と取り組み

訓練準備は、次の手順を基本に実施します。


**準備のポイント**

訓練準備のポイントは下記のとおりです。運営チームによる「企画会議」を通じて進めます。

## 1 事前の検討・調整をする

訓練メニューの「訓練日までに準備すること」を参考に、事前に関係者間で必要な調整や検討を行いましょう。

- 訓練当日の進行役等、訓練で使用する備品について検討し、その確保に向けて調整しましょう。
- 訓練実施場所(会場)の確保と活用したい部屋や設備等の使用可否に関しても調整しましょう。



## 2 訓練に必要な人員を確保する

訓練シートにある「必要な人員」の欄を参考にしながら、訓練当日の進行役等の人員を確保しましょう。

- 進行役等は、地域の自主防災組織リーダーや、広島県避難所開設・運営訓練アドバイザー、市町職員など防災に詳しい人をお願いしましょう。
- その他、参加者の誘導など、訓練に必要なスタッフについては、運営チームで役割分担をするようにしましょう。



## 3 訓練に必要な資料物品を用意する

訓練シートの「必要な資料物品」の欄を参考にしながら、訓練に必要な資料や物品等を用意しましょう。

- 資料を作成する場合は、パソコンの操作が得意な人などに協力してもらいましょう。
- 訓練で使用する備品等は、できるだけ避難所にあるものを活用することとし、事前に使い方と正常に使用できるか、使用にあたっての注意点を確認しておきましょう。



## 4 参加対象者への呼びかけ

参加を呼びかけるためのチラシ等を作成し、回覧板や掲示板などを活用して、参加対象者に参加を呼びかけましょう。

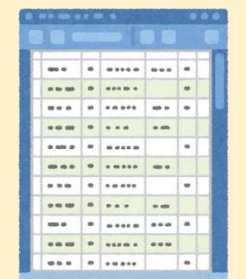
- 回覧板や掲示板の他に、チラシの配布やホームページ、SNS等を活用したお知らせをするなど、様々な人に参加を呼びかけましょう。
- チラシを作成したり、ホームページやSNS等を活用する場合は、パソコンやインターネットが得意な人に協力を求めましょう。



## 5 参加者名簿の作成

参加申し込みのあった対象者の名簿を作成し、訓練に誰が参加するのか、何名参加するのかをわかるようにしておきましょう。

- 何人くらい参加が見込まれるか、どこの地区の人か、どこの自治会や自主防災組織に所属の人かなどわかる場合は、参加予定を見込んでおきましょう。





### 3. 準備段階の取り組み

#### 実施事例： 訓練の実施計画をチラシにして呼び掛けよう！

- 広島市安佐北区の落合小学校において実施する訓練に先立ち、訓練企画の段階で実施計画書を作成した一例(次の左図)と、実施計画書の内容を踏まえ、自主防災連合会で作成したチラシの一例(次の右図)を以下に紹介します。
- 作成した実施計画書等をもとに関係者に訓練の内容を共有しました。また、作成したチラシは、地域住民に配布され、訓練参加の呼びかけに使用されました。
- チラシには、開催場所や集合時間の他、訓練の実施内容、実施方法、訓練の詳細な時間割などを記載し、何を訓練するのがわかるようになっています。

令和4年度 落合学区防災訓練細部計画	
(訓練大綱)	
(1) 目的	昨年度から、広島県健康福祉局健康危機管理課の避難所運営マニュアル策定モデル地区の指定を受け、コロナウイルス感染症対策を考慮しつつ、避難所運営の基本や災害時要支援者避難支援者のために導入した「安否確認システム」を活用した訓練を行い、安心して住みよい活気ある落合学区となるよう関係機関と連携を深めることを目的とします。
(2) 日時	令和4年10月30日(日) 午前8:30～12時00分の間  (荒天の場合は、11月6日(日曜日)に延期します)
(3) 場所	広島市立落合小学校体育館(安佐北区落合南2丁目13-1)
(4) 主催	落合学区自主防災連合会・落合学区防災委員会
(5) 共催	落合学区自治会・町内会連合会、落合地区社会福祉協議会・落合学区体育協議会・落合地区民生委員・児童委員協議会
(6) 協力機関	広島県健康福祉局健康危機管理課・広島市危機管理室・広島市安佐北区役所・広島市安佐北消防署・広島市立落合小学校・広島市安佐北消防団落合分団・広島市安佐北区障害者基幹相談支援センター・口田地域包括支援センター・広島工業大学地域防災減災教育推進センター・なごみの郷・サイエンスクラフト・備三宅
(7) 訓練参加者	約200名(新型コロナウイルス感染予防の観点から総数200名とします)
(訓練想定)	
(1) 災害の内容	震度6弱の直下地震(南海トラフ地震)
(2) 被災状況	落合地区一帯は、①家屋の数棟が半壊、②窓ガラスの落下やブロック塀の倒壊により、多数の負傷者が発生、③電気・ガス・水道・電話等のライフラインの被害(供給が時的にストップ)という被害が発生し、住民は指定避難所(落合小学校)へ避難する。

実施計画書例  
(落合小学校)

## 安佐北区落合学区 自主防災訓練のご案内

10月30日(日) 8:30～12


8:30に避難開始合図を放送とメールで行います

地震発生(8時30分)、放送とメールでお知らせ  
各町内会・自治会(5名以内)は、近くの集合場所へ集結し、小学校体育館へ避難する。  
その後受付へ(会場は2か所あります。)

(会場) 指定避難所：落合小学校体育館

内容：8:30 安芸灘を震源とする地震発生(落合学区の震度は震度6弱)  
9:00～11:00 住民の避難訓練と受付訓練(避難所感染予防に配慮した受付)  
(デジタル化導入のための受付訓練)  
(音声認識システムによる避難者の受付訓練)  
(色々な障害や個性を持った避難者の受け入れと避難所の運営訓練)

11:00～11:10 開会式  
11:10～11:30 安否確認システム登録説明(災害時の要支援者避難支援者対象)  
11:30～11:40 落合学区災害時要支援者の避難支援対策と個別計画策定のお願い  
11:40～ 閉会式  
11:50～ 非常食の受け取り後、解散



チラシ例  
(落合小学校)

#### 実施事例： 準備物リストを作成しよう！

- 竹原市の中通地域交流センターで行った避難所の開設と運営の訓練に向け作成した「準備物リスト」を紹介します。
- 訓練内容に即して、多くの準備物が必要となりました。
- 資料や物品がどれだけ必要なのか、誰が用意するのか、どこから調達するのかなどを確認し、抜け落ち漏れが生じないように、準備物リストを作成しました。



No.	準備物名	数量	用意する人	備考
1	説明資料(パワポ)	35部		予備含む
2	マニュアル(様式・ポイント集含む)	3部		予備
3	参加者名簿	10部程度		
4	ビブス	3つ		「避難者」の文字入り
5				
6	デジカメ	1つ		
7	ビデオカメラ	1つ		
8	ICレコーダー	1つ		
9	延長コード	2つ		
10				
11	マイク	2つ		施設にあるものを使用
12	プロジェクター	1つ		
13	パーティション(グループワーク用)	適宜		4グループ分
16				
17	段ボールベッド	1つ		施設にあるものを使用
18	インスタントトイレ	2つ		施設にあるものを使用
19	感染症対策グッズ(訓練用)	1セット		施設にあるものを使用
20				
21	ぬいぐるみ(乳幼児の代わり)	1つ		
22	避難所利用者登録票のサンプル	5個程度		
23	情報掲示サンプル	10個程度		
24				
25	模造紙	5枚		予備含む(各班1枚)

準備物リスト例  
(中通地域交流センター)

## 4. 実施段階の取り組み

## 実施

## 訓練実施の手順と取り組み

訓練実施は、次の手順を基本に実施します。


**実施のポイント**

訓練実施での各取り組みについてのポイントは、下記のとおりです。

**1 会場の準備をする**

訓練を始める前に、会場の設営や資料の配布、また訓練に必要な物品の準備をしましょう。

- 机や椅子は、あらかじめ、どのような配置にするか決めておきましょう。
- 資料は、受付で手渡しする、また資料を机・椅子に一部ずつ置くなど、訓練開始前に配布しておくようにしましょう。
- 会場の設営は、参加者に手伝ってもらうのもよいでしょう。


**2 参加者の受付をする**

参加者名簿を踏まえ、参加者の受付を行い、実際に訓練に参加する人や人数を把握しましょう。

- 早めに来場する人に備え、訓練開始30分くらい前から、受付をしましょう。
- 受付では、名簿で名前をチェックするなどして、実際に誰が来ているのか、何人来ているのかを把握するようにしましょう。


**3 訓練を実施する**

訓練シートの「進行に必要な人」の欄を踏まえて役割分担を行い、「訓練実施の手順」に従って訓練を実施しましょう。

- 訓練実施中は、参加者が不必要に設備や資機材に触れたりしないように、注意するようにしましょう。
- 具合の悪そうな人がいたら、声をかけ、休ませるなどの対応をしましょう。
- 訓練の様子を、カメラやビデオなどで記録することも考えましょう。



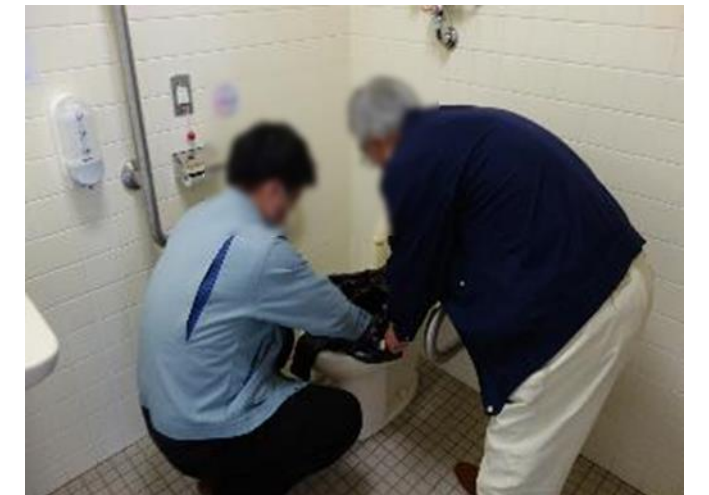
参加者受付の様子  
(中通地域交流センター)



訓練説明の様子  
(中通地域交流センター)



訓練実施の様子  
(中通地域交流センター)





## 4. 実施段階の取り組み

### 実施事例： 安全を確保して訓練を実施しよう！

- 訓練を始める前や、訓練に取り組む前に、参加者に対し、ケガのないよう、注意を呼びかけましょう。
- 資機材を使用する場合は、その操作方法や取扱い上の注意点を事前に確認しておき、参加者にも伝えましょう。
- 不必要に施設内の設備に触れたり、訓練と関係のない行動をしないよう呼びかけるとともに、参加者の安全対策のためのスタッフの配置も考慮しましょう。
- 気温の高い日は、訓練時間を短縮したり、飲み物の配布や、休憩時間を多くとるなど、熱中症対策を行いましょう。



世羅町の大田自治センターで避難所開設・運営時に施設をどのように使うのか把握するための「施設見学の訓練」を行ったときの様子です。

説明を行うスタッフの他に、参加者の集団の前後にスタッフを数名配置し、参加者を誘導したり、参加者に危険はないか、困っている人はいないかなど確認しつつ、実施されました。



施設見学の様子  
(大田自治センター)

### 実施事例： たくさんの住民に参加してもらおう！

- 自治会・町内会で実施するお祭りや運動会など多くの地域住民が参加している行事やイベントの一部として訓練を実施すると、結果として、多くの方が訓練に参加することにつながります。
- また、訓練自体に楽しい要素を加えることで、子どもが参加しやすくなり、その親の参加にもつながります。楽しみを加えることで、参加者の幅が広がります。



広島市東区の温品公民館や温品小学校で行った、防災フェアの様子です。

子どもが楽しめるよう、防災クイズラリーや防災すごろく、防災紙芝居、ちびっこ消防士体験などのイベントを実施したり、震動体験や消火器体験など、実際に触って、体験したり、使ってみたりする訓練を取り入れています。

その他、防犯・防災講座に、講師として、地域の防災士の方の他、お笑い芸人を招聘して、住民の皆さんが、楽しく防災について学べるようにするなど、さまざまな工夫をしています。



防災フェアの様子  
(温品公民館・温品小学校)



## 5. ふりかえり段階の取り組み

ふり  
かえり

## 訓練ふりかえりの手順と取り組み

訓練ふりかえりは、次の手順を基本に実施します。



## ふりかえりのポイント

訓練ふりかえりでの各取り組みについてのポイントは、下記のとおりです。訓練参加者の一部を交え、運営チームによる参加を通じて進めます。

## 1 ふりかえりを実施する

訓練後、訓練シートの「訓練実施の手順」にそって、訓練で気付いたこと等について、意見交換を行いましょよう。

- 意見交換時は、特定の人のお話に終始しないよう、持ち時間をあらかじめ決めるなどして、全員から意見を聞くようにしましょう。
- 改善点等の指摘は、記録の上、次の訓練に活かすようにしましょう。



## 2 マニュアルを修正する

ふりかえりの意見をとりまとめ、必要に応じて、避難所開設・運営の活動を見直し、マニュアルを修正しましょう。

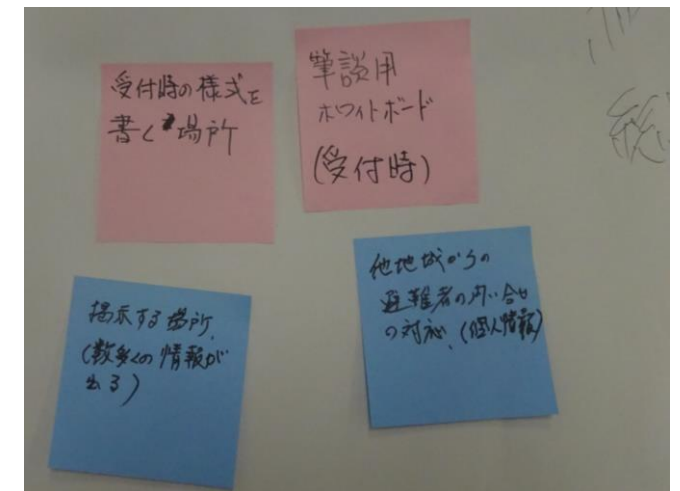
- ふりかえりの結果をもとに、どこを改善するかなど話し合い、決めて、修正・改善作業を行いましょよう。
- 修正・改善した点は、関係者にも共有しましょよう。



## 3 訓練結果を発信する

訓練の様子やふりかえりの意見などをまとめ、訓練結果として、広く地域に発信しましょよう。

- 訓練の様子やふりかえりの結果は、町内会の回覧板や掲示板で発信するほか、ホームページやSNSなどを活用し、幅広く発信しましょよう。

ふりかえりの様子  
(中通地域交流センター)意見交換の様子  
(中通地域交流センター)訓練後の意見・気づき等  
(中通地域交流センター)



## 5. ふりかえり段階の取り組み



## 実施事例：

## 訓練実施後は意見交換の場を設けよう！

- 訓練後は、「ふりかえり」や「意見交換」を実施します。
- 訓練当日に参加者全員で、訓練で気付いたことや、対応の課題などを話し合う機会を確保することも一案です。
- 参加者の意見や要望等をもとに、今後の訓練や避難所開設・運営を行うにあたっての改善策を検討しましょう。



竹原市の中通地域交流センターで行った訓練後の「ふりかえり」の様子です。

訓練参加者である「避難所運営組織の代表者」と「各班の班長」が集まり、それぞれの活動について報告したあとで、活動の反省点について、発表しました。

また、各班の中でも、活動内容の反省点などについて意見交換を行い、意見交換の内容について発表し、全員で今後の改善点等を共有しました。



代表者等による意見交換の様子  
(中通地域交流センター)



各班での意見交換の様子  
(中通地域交流センター)



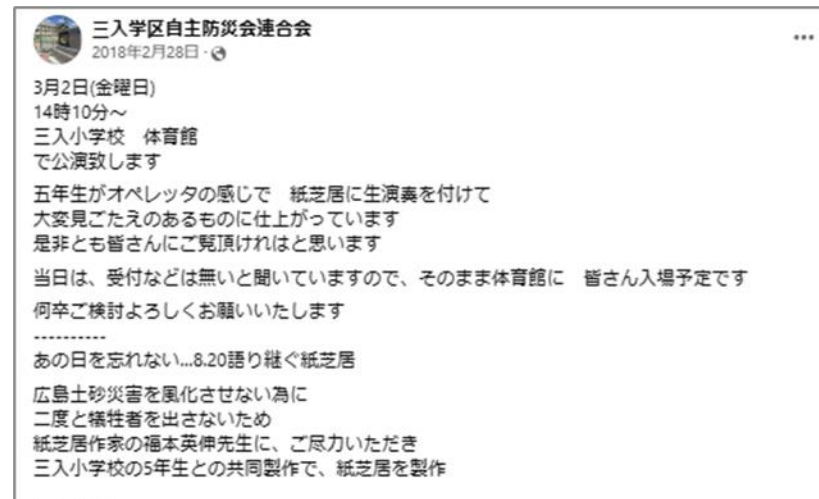
## 実施事例：

## 訓練やふりかえりの内容を発信しよう！

- ふりかえりの結果は、訓練実施の様子とあわせて、地域住民の皆さんに情報提供しましょう。
- 避難所訓練の様子などどんな活動や取り組みをしているかを、知ってもらえるようにしましょう。

広島市安佐北区の三入学区自主防災会連合会では、広島市の「こむねっと ひろしま」やフェイスブックを活用して、取り組みの内容を紹介しています。

下記は、三入小学校の児童と自主防災課会連合会との協働による、防災イベントの実施状況です。そのほか、フェイスブックでは、避難所の開設状況や、地域の被害状況なども発信しています。



防災イベントの様子  
(三入小学校)

出典：三入学区自主防災連合会  
フェイスブック  
(<https://www.facebook.com/miirij>)